

文化情報

あなたが
主役!!
ふるさと
文化!!

1993年(平成5年)12月1日(季刊)

創刊号

発行所
財団法人 中條文化振興財団

〒760 高松市中央町5番28号 青井ビル4階
TEL・FAX (0878) 34-6790



は相談役をされている中
條晴夫氏の投じられた私
財を基金に、このたび財
団法人中條文化振興財団
が設立されました。

私はこの中條晴夫氏の
文化振興に寄せられる並

化、21世紀への“文化の
かけ橋”」をスローガン
に、本県の有力な地方銀
行であります百十四銀行
の頭取、会長、そして今

並ならぬ熱意と誠意に心
を動かされ、初代の理事
長をお引き受けした次第
です。

中條文化振興財団は去
る10月1日に歩みはじめ
たばかりで、そのひと足
ひと足は誠におぼつかな
いもので、掲げた目的・
事業をどの程度達成でき
るか不安であります。

就任に際して

財団法人 中條文化振興財団

理事長 北川 保夫

しかし私はこの財団が
めざす、県内のかくれた
文化の発掘。21世紀へ今
我々に残されている伝統
文化の継承。あるいは新
しく発展させていく若者
達の後援が、必ずや後の

ます。

どうか中條文化振興財
団の設立主旨をご理解い
ただき、財団に対する積
極的なご支援、ご協力を
お願い申しあげます。

足の理事会において、中
條晴夫氏を財団顧問に、
との理事全員の要請を同
氏が快諾して、顧問就任
を決議した。

中條晴夫氏
財団顧問に

時代に生きてくると確信
します。

また私達の住む讃岐に
てたすばらしい文化が数
多くあります。

輪和語

とうとう中條
文化振興財団が
できた。文化財
団を創ろう!!と
いう話がもちあ
がつてからもう六・七年
になる▼スポーツ財団は
至つて簡単にできるが、
「文化」となるとなか
なかむつかしい。どうして
なのか?その理由はいろ
いろあるだろう▼なんと
いつても「文化のあいま
いさ」だろう。スポーツ
は明解である。陸上・テ
ニス・バスケットボ
ル・野球……だれにも判
かる▼次に体と心とのち
がいであろう。文化は主
として心の働きが求めら
れる。スポーツは主とし
て体の働きである▼そ
他にも使われる時間と
か。成果のあがり具合と
か▼ともあれ心と体はだ
れもが持ち合わせてい
る。片寄りのない生活で
人生をたのしみたい。

財団法人中條文化振興財団発足

净財一億円を基金に

財団賞・助成金・情報紙発行

事業計画の内容

I 文化意識の啓発事業 ● 文化講演の開催

香川県下の文化の向上と県民の文化意識の啓発を図るとともに、文化活動に対する育成・助成を行い文化団体の質の向上を助長することを目的として、「財団法人中條文化振興財団」が、十月一日に発足した。

財団基金は、中條晴夫（現・百十四銀行取締役相談役・高松市文化協会長）氏から寄附された一億円の净財である。

来年度からはこの基金の果实である利息によって財団運営をしてゆく計である。創立初年度はまだ基金からの果实がないので、別途に運用金として五百円の寄附を受け、本年度の活動ができるようになつたのである。

1、受賞候補者は、県内財団賞受賞候補者選考基準

者には、別紙受賞者決定通知書（様式二号及び三号）により通知するものとする。

1、助成対象文化団体は、次のとおりとする。
助成基準

1、助成対象文化団体

4、受賞者には、財団賞（賞状）と奨励金二十万円を贈呈する。

5、受賞者への贈呈式は、財団設立記念日に行なう。

2、受賞候補者の推薦は、香川県内各市町の教育委員会（文化行政担当課）及び香川県内各市町文化協会から別紙（様式一号）により推薦書を財団に提出するものとする。

3、財団は、提出された推薦書により、評議員会を開催して毎年二名（団体）以内の受賞者を選考し、理事会で決定する。

2、助成対象事業は、次の要件すべてに適合するものとする。

1、実施しようとする事業が、香川県の芸術文化の振興発展に眞に役立つと認められ、かつ経済的に助成を必要とするもの

（1）文化団体を設立後五年未満の団体―将来的に香川県における文化発展に寄与することが予想されるもの。

（2）既存の文化団体で新しい方向づけを目指そうとしている団体―既存の文化団体で、過去の殻をやぶり新分野での活動を目指している団体。

（3）未分野の開拓に努力しようとしている団体―他の文化団体が手がけていない未分野を手がけている団体。

2、助成対象事業は、次努力しようとしているもそのを育成していくことを目的に、事業費の一部を助成する。

1、実施しようとする事業が、香川県の芸術文化の振興発展に眞に役立つと認められ、かつ経済的に助成を必要とするもの

(2) 営利を目的とせず、明確な会計経理を実施・報告でできるもの
 (3) 冠公演（展覧会）でなく、また特定の団体等の宣伝を目的としないもの
 (4) 助成決定の場合、ポスター・チラシ等に財団助成の旨を表示できるもの

3、事業実施時期は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までのものとする。

4、助成を受けようとする団体の代表者は、別紙助成金交付申請書

（様式一号）により、当該事業開始の一月前までに財団に提出するものとする。

5、助成金の額

助成対象事業経費総額から、次の経費を控除した額の二分の一の金額で三十万円を限度とする。ただし、その額に一万円未満の端数

がある場合は、切り捨てるものとする。
 (1) 人件費（給料・賃金およびこれに付帯する経費）
 (2) 入場料
 (3) 国県市町等補助金
 なお、積算した額が三万円未満の場合は、助成しないものとする。

6、助成金の交付決定

財団は、提出期限までに提出された助成金交付申請書により、審査委員会（副理事長一名、常務理事、理事一名、評議員五名により構成）を開催して、予算の範囲内で助成金の交付を決定し、理事会の承認を経て別紙助成金交付決定通知書（様式二号）により、申請

財団法人中條文化振興財団 役員一覧

理事 岩田清祐（四国新

理事長 北川保夫（全国調理師養成施設協会会長）
 副理事長 中條利祐（百十四銀行常任監査役）
 市美術館長
 副理事長 中條利祐（百十四銀行常任監査役）
 常務理事 奈良正（香川大学短期大学部講師）
 理事 井原理代（香川大學経済学部教授）
 理事 市原輝士（日本民俗建築学会理事）
 理事 入野昭三（香川医学校長）
 理事 岩田清祐（四国新

III 文化情報の収集・提供

事業

理事長 北川保夫（全国調理師養成施設協会会長）
 副理事長 中條利祐（百十四銀行常任監査役）
 常務理事 奈良正（香川大学短期大学部講師）
 理事 井原理代（香川大學経済学部教授）
 理事 市原輝士（日本民俗建築学会理事）
 理事 入野昭三（香川医学校長）
 理事 岩田清祐（四国新

理事 岡市友利（香川大學生長）
 理事 久米川久夫（香川大学監査室長）
 理事 藤川正博（百十四銀行監査室長）
 理事 増田伸夫（瀬戸内海放送株式会社常務取締役）
 監事 安藤福夫（安藤税理士事務所代表者）
 監事 中田信雄（公認会計士中田事務所代表者）

業変更（中止）届（様式四号）を提出するものとする。

8、助成金の交付

助成金の交付は、原則として事業終了後、事業報告書及び決算書に基づいて行う。

なお、助成対象経費が助成金交付決定時の予算を下回ったときは助成金を減額する場合もある。

7、事業報告の提出

助成金の交付決定を受けた団体が、該当事業を終了したときは、事業終了後二十日以内に事業報告書及び決算書

● 文化活動の紹介と文化に関する機関紙の発行と県下の文化活動の紹介と県民に広く紹介するため、無料配布の機関紙を発行する。

○ 発行回数 年四回

○ 発行部数 一万部

○ 規格 B5八ページ

○ 配布先 県内地方公共団体・施設・各文化協会等

なければならない。

文化協会めぐり

1

半世紀の歴史 丸亀市文化協会



会長 河野 虎雄

丸亀市文化協会は、会員のたゆまない学習と、芸術への精進により、知識と技術を高め豊かな地域文化の創造と、向上をめざす団体である。

文化憲章ともいえる、このような目標をかかげて活動する当文化協会が、正式に発足したのは、敗戦の荒廃と混乱の中の、昭和二十四年であった。

●事業
発足当時の事業としては、講師を招いての講演会、座談会、日大生をリーダーとして社交ダンスの夕べや、良い映画を見る会など。美術関係の講習なども開く。

その中で情熱を燃やしたもののが、中央公民館の設置運動であった。幸い、旧丸亀連隊の将校集会所の建物が残っていたので、昭和二十五年開館し、県下でも最も早い設置となつた。

その外、新しい盆踊り歌つて盆踊り大会を開催、丸亀市民の歌も、広く県下から募集した。レコードコンサートもやり、一方、高浜虚子の句碑と吉井勇の歌碑をお城の中に建立など多彩なものであつたが、これらは、戦災を免れた町であつたからこそ出来たのか

●組織
結成当初は、個人会員加入組織であつたが、昭和三十二年から改組し、各部門のグループを単位会員とするグループ加入に改めて今日に至つてい

平成五年度は、予算五五四万円で、会費は年間一万円、個人会費八千円となつてゐる。



いものであった。

その他の、最近までの主な事業としては、市民会館の建設運動、美術館の建設運動、文楽の開催、第一回野外彫刻展の

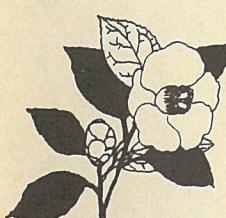
開催、城下町の旧町名標石の設置、機関誌「城苑」の発刊、文化祭や、中央公民館の市民学校への講師派遣。これは老人大学へも及んでいる。其他、お城まつりへの協力はもとより、外枚挙にいとまない。

個人会員 計 一二三一

各部を分けて二十二二部とし、それぞれ部長を選出しして理事とし、役員と共に理事会を構成する。

役員は、会長一、副会長二、書記一、会計とし、監事二を置いている。事業実施については、その都度「実行委員会」を置き協議実施に当たつてゐる。

●財政
平成五年度は、予算五五四万円で、会費は年間一万円、個人会費八千円となつてゐる。



サークル
紹介

高松凧愛好会

今年も余すところ1ヶ月足らずとなつた。以前は男の子の遊びの中でも冬の風物詩にも数えられたが最近はほとんど見かけなくなつた和凧をつくつてたのしんでいると、高松凧愛好会をお訪ねして、会長の小柳さんをはじめメンバー四人の方に話をうかがつた。

発足は昭和53年、当

の三つで材料費はそうかかりないが、一つ仕上げるのに、(大きさにもよるが)約20~25時間要する。その製作過程と出来あがつた凧を大空にあげるという二つの楽しみがある。凧は風を受け、受けた風を逃がしてやると良く揚がる。その為にはヒゴつくりが一番大事で左右対称が基本。左右

人への新築祝いや出産祝に贈つて、大変喜ばれているそうだ。それに、東讃を中心に近隣の小学校や幼稚園、子供会から依頼があれば材料を全部用意して出掛け、親子凧教室を年に5~6回も開いているそうだ。それが数にして年間五百~六百個にもなるという。参加する親子は想い想いに絵を描いて仕上げるだけで、良くあがりとても喜ばれるらしいがその準備は大変なものと思う。時に、市役所のロビー展等へも出品依頼があり、新春のロビーを飾つたりもする

運搬用の木箱から次々に出てみせて下さる凧は全国各地におよび、形や図柄、作り方にも、それぞれ特徴がある。その大舞台である大空で見るのが楽しみであり、又、会場は、各地から参加の愛好家同士、凧を交換し合い、交流の場にもな

る。図柄は、燕の形に五つの輪、「見信」等、独特の図柄が10程もあり、この種類の多さは、全国でも有数だという。これは立派な、高松の文化財だと認識を新たにした。これまで伝統的な凧が継承されているにもかかわらず、高松では恒例の行事としての凧あげ大会が行われる。

高松市内では、1月9日、太田中央小グランドで行われる。

時、派出所勤務の県警の森武氏の指導を受けたのが始まりで、現在会員は、40代後半から60代までの15名ほど。内1人は女性、月2回、第1第2土曜日下笠居公民館に集まり、ときには飲み会も交えて和気あいあいと凧づくりを楽しんでいる。

紙、竹(ヒゴ用)、染料の材料は、和紙、竹(ヒゴ用)、染料にはしないが、親しい

のバランスを良く、仕上げる事が肝心だ。出来映えの見事さに「これは売り物になりますね」と声をかけたら「売れますよ。しかし売つたらむなし。売ると、取りひきになるけん、売らんな」と言われた。竹をとつてくるところから、全て手づくりの凧は、売り

といふ。

会員の人達は、各地で行わっている大会に出掛けた



高松凧愛好会のメンバーたちと自慢の凧

県下の
画廊の草
わけであ
る宮武画
廊が今年
30周年を
迎えたと
小西百代
さんにお
話をお伺
た。丸亀町商店
街の一角、宮武書店の地
下にある宮武画廊は広さ
約64平方メートル、中央
に喫茶用のイスと小さな
テーブルがある。営業時
間は9時から19時迄で店
休日は年末31日と1月
1、2日の3日間だけ。
小西さんは、男の子の
欲しかった父、故宮武義
玄氏に、男の子として厳
しく育てられ、仕事をす
ることは、自分の行動全
てに責任を持つ事。行動
力、判断力、責任が要求
され、仕事上では、男も
女もないという事を学ん
だという。彼女の仕事に

文化の器

対する目は厳しい。特に
女性は自分の仕事に責任
を取らないと、手厳しい
い。しかし、自分は今ま
では、男性から吸収する
ばかりだったが、最近、
仕事を持ち、吸収すべき
ものをもつ女性に出会つ
ようになつた事はうれし
いという。画廊のオープ
ンに際して、経営上採算
がとれるか不安ではなか
つたかという質問に、

「1週間5万円ですよ。
それる訳ないでしょう。
もうけようと思つてやつ
ているんじゃないから」
と画廊経営が事業として
ではなく若手芸術家、未だ
無名の作家に、作品発表
の場を提供し、地元の作
家を育てたいという想い
だつたと語つてくれた。
そのオープン以来の思
入れと、自ら好奇心の
固まりと言う、エネルギー

ツシユな生き方に彼女を
慕う人も多い。
小西さんは、作家に対
しては、より効果的に
と、展示上のアイデアを
提供したりムードづくり
のアドバイスをする。必
要とあれば、それぞれの
分野の人を紹介するな
ど、支援を惜しまない。
お客様が、気に入つた作品
の購入に際しては、ロー
ンの交渉や保証人になる

など、作家とお客様の良き
パイプ役でもある。利用
申し込みについては宮武
画廊では、どんなに有名
な人であろうと、受付順
の原則をくずさないとい
う。向こう三ヶ月はもち
ろん、来秋の予約はほぼ
いっぱいだそうだ。

宮武画廊展示スケジュール

TEL (0878) 51-2354

~12/5	植田昌宏作陶展
12/6~12	高松フォトクラブ展
13~19	雅潤会染色展
20~29	川田忠義展
1/3~9	硯友グループ展
10~16	県立聾学校児童生徒作品展
17~23	香川大学美術部卒展
24~30	みなみ人形学院展
31~2/6	写真展(禅寺食事展)
2/7~13	草木染オリジナル服展
14~20	伊兵衛織作品展
21~27	高松美芸クラブ展



宮武ギャラリーの巻

本島の島おこしを企画運
営した西川弘二氏、大衆
演劇の山口英二郎氏
等々、他方面の人達への
後押しや栗林動物園の象
さんを呼ぶ会の事務局を
引き受けるなど、疲れを
知らぬ活躍ぶりも聞こえ
ている。多忙な日常生活
の中、一週間ごとに変る
作品を見ながら、明日の
速水史郎、川島猛を想う
のはたのしい。

催し物情報

●香川県文化会館 ☎ (0878) 31-1806

H 6 / 1 / 8 ~ 23 日本伝統工芸展
2 / 4 18:30 桂米朝独演会

(有)
(有)

16 18:00 安永徹ひきいるトリオベルリン

(会)

22 16:00 香大軽音楽部コンボニティー演奏会

(有)

23 10:00 ~ 13:00 ~ 新春ファミリー映画会

(有)

30 11:00 オリーブ映画祭

(有)

2 / 4 18:30 高松市役所吹奏楽団定期演奏会

(無)

11 11:00 琴伝流大正琴四国大会

(無)

13 13:30 未来を拓く子育てシンポジウム

(整)

19 18:00 二期会オペラ、ガラコンサート

(有)

20 10:00 ~ 13:30 ~ 講演と映画会

(有)

27 10:30 文化講演会 (山田洋次氏)

(有)

●香川県民ホール ☎ (0878) 23-3131

12 / 1 スーパーミュージカル「源氏物語」
2 K S B スーパーセレクションライブ
5 島田バレエ公演「ジゼル全幕」
7, 8 C H A G E & A S K A コンサート
14 松山千春コンサート
16 竹内タケシ&ブルージーンズ
19 香大吹奏楽団定期演奏会
22 横原敬之コンサート
23 香大合唱団定期演奏会
24 高松冬のまつり プチミュージカル
25 香大マンドリンクラブ定期演奏会
H 6 / 1 / 8 新春玉藻能
15 マースカニングハム舞踊団
22 重要無形文化財「雅楽」特別鑑賞会
3 / 23 小澤征爾指揮歌劇「トスカ」公演

(有)
(有)

●高松三越 ☎ (0878) 51-5151

~ 12 / 6 現代工芸美術家協会四国展
12 / 7 ~ 13 玉野勢三彫刻展
14 ~ 20 迎春用掛軸展
21 ~ 27 ヨーロッパ伝統絵画展
28 ~ H 6 / 1 / 23 新春大絵画展
1 / 25 ~ 30 博多雛人形展
2 / 1 ~ 6 里帰り薩摩錦手陶芸展
2 / 8 ~ 20 日本画洋画100選展
2 / 15 ~ 27 朝日焼松林玄衛展

(無)
(無)
(無)
(無)
(無)
(無)
(無)
(無)
(無)

●ギャラリー「アコスター」 ☎ (0878) 41-8200

12 / 24まで 晴秀三の Merry Christmas 展

(無)

●ミューズホール ☎ (0878) 33-0013

12 / 4 18:20 高松冬のまつりチャリティ点灯式
& 子供文化賞表彰式
8 18:00 講演と映画「人間菊池寛を語る」
13 18:30 斎田正子ソプラノリサイタル
18 18:00 ~ 18:30 ~ 香大ギター・アンサンブル演奏会
25, 26 13:30 ヒロ & テリーダンス公演

(無)
(会)
(有)

●セントラルホールディング ☎ (0878) 33-0005

12 / 5 14:00 クリスマスファミリーコンサート
H 6 / 1 / 15 12:00 O S T 舞踏会 (ソシアルダンス)
1 / 22 ~ 30 ウイングアートシリアル (日本画)
2 / 5 14:00 講演「禪を聞く会」
2 / 11, 12 14:00 演劇「てふてふまい蝶の幻想」

(有)
(会)
(無)
(有)
(有)

●モリシゲ ☎ (0878) 34-3151

12 / 3 ~ 12 第6回美術工芸グループSOKIKAI 社議会展

(無)

●大野原町

1 / 6 芸能祭 (町中央集会場)
2 / 13 家庭教育講演会「親ばかにける妙薬」(総合福祉会館)

●高松市図書館 ☎ (0878) 61-4501

12 / 4 18:30 サンクリスタルコンサート
9 15:00 おはなし会 1 / 13, 27, 2 / 12.24
11 10:00 映画会「くるみ割人形」
18 14:30 クリスマスおはなし会
H 6 / 1 / 8 10:00 映画会「アメリカ物語」
2 / 12 タイトル未定

(無)
(整)
(無)
(無)
(無)
(無)

●高瀬町

12 / 5 ~ 6 故寺坂虎径特別展 (町立図書館)
11 ~ 12 高瀬町文化展 (農村環境改善センター)

●高松市美術館 ☎ (0878) 23-1711

12 / 10 ~ 19 瀬戸内海絵画写真展
H 6 / 1 / 21 ~ 2 / 13 讃岐漆芸の美展
2 / 25 ~ 3 / 27 キュービズムの巨匠 - レジェ展

(有)
(有)
(有)

●坂出市民美術館 ☎ (0877) 45-7110

12 / 4 ~ 17 第8回ファミリーアート展
9 ~ 23 パッチワークキルト展
1 / 8 ~ 9 幼児絵画展
13 ~ 22 西香川秀作展
29 ~ 30 婦人生活文化展
2 / 3 ~ 9 毎日児童生徒書き初め展
10 ~ 24 第27回現代美術選技展

* (有)は有料、(無)は無料、(会)は会費制、(整)は整理券が必要 (記号表示は判明したもののみ)

◎ 香川県内各市町文化協会設立状況 ◎

協会名	会長名	連絡先	電話	団体加盟数	会員数
高松市文化協会	中條 晴夫	高・中央町5-28青井ビル4F	(0878) 34-6700	253	
丸亀市文化協会	河野 虎雄	丸・大手町2丁目3-1教育委員会生涯学習部文化課内	(0877) 24-8826	121	119
坂出市文化協会	大西 弘	坂・寿町1丁目3番5号公民館内	(0877) 46-2422	61	804
善通寺市文化協会	芝 昇	善・文京町2丁目1-4教育委員会社会教育課内	(0877) 62-2121	107	
観音寺市文化協会	槇 啓州	観・坂本町甲346-1中央公民館内	(0875) 23-3944	55	
土庄町文化協会	井上 武夫	小・土庄町甲120中央公民館内	(0879) 62-0238	54	
池田町文化協会	中村 巍	小・池田町大字池田2100-4教育委員会内	(0879) 75-0431	24	
内海町文化協会	中田 寿	小・内海町安田甲144-90教育委員会内	(0879) 82-2111	23	
大川町文化協会	名倉 宗男	大・大川郡富田中2215-1教育委員会内	(0879) 43-3594	33	
長尾町文化協会	三村 正則	大・長尾町東914-1長尾公民館内	(0879) 52-2301	32	約 530
志度町文化協会	多田 和士	大・志度町大字鴨庄4610-44教育委員会社会教育課内	(0878) 94-1541	40	
三木町文化協会	筒井 元	木・三木町大字水上310教育委員会社会教育課内	(0878) 98-1111	45	約1000
牟礼町文化協会	岸本慶三郎	木・牟礼町牟礼130-2公民館内	(0878) 45-4111	44	1107
庵治町文化協会	三好 治	木・庵治町888-1教育委員会内	(0878) 71-4162	23	約 460
塩江町文化協会	竹内 利則	香・塩江町大字安原下第2号1645教育委員会内	(0878) 97-0131	16	367
香川町文化協会	青木恪三郎	香・香川町浅野233-7	(0878) 89-0361	35	257
直島町文化協会	松田 武重	香・直島町1122-1教育委員会内	(0878) 92-2882	30	360
綾南町文化協会	藤井 賢	綾・綾南町大字滝宮299教育委員会内	(0878) 76-1111	71	団体加盟約1400個人加盟76
綾歌町文化協会	熊谷 廣信	綾・綾南町栗熊西1638教育委員会内	(0877) 86-2311	28	565
飯山町文化協会	吉井 隆	綾・飯山町川原1114-1教育委員会生涯学習課内	(0877) 98-2251	82	
宇多津町文化協会	森山 汲甫	綾・宇多津町栄町1881教育委員会内	(0877) 49-0511	56	約 800
多度津町文化協会	藤岡 清	仲・多度津町栄町1丁目1-91教育委員会内	(0877) 33-1111	21	384
大野原町文化協会	藤原 高男	三・大野原町大字大野原1260-1中央公民館内	(0875) 54-3111	21	514
豊浜町文化協会	高原 晴美	三・豊浜町大字和田浜1531-1教育委員会内	(0875) 52-3111	21	約 400
豊中町文化協会	大西 昇	三・豊中町大字本山甲192-1教育委員会内	(0875) 62-3111	37	約 900
高瀬町文化協会	湯口 邦男	三・高瀬町大字下勝間2373教育委員会内	(0875) 72-1111	37	847
仁尾町文化協会	三宅 久雄	三・仁尾町493-2(事務局長) 槙 隆	(0875) 82-3170	50	個人組織
詫間町文化協会	稻田 精	三・詫間町大字詫間1338-13教育委員会内	(0875) 83-3111	47	約 564

○東讃文化協会連絡協議会 中條 晴夫 高・中央町5-28 青井ビル4F ☎0878(34)6790

○西讃文化協会連絡協議会 河野 虎雄 丸・大手町2丁目3-1 教育委員会生涯学習部文化課内 ☎0877(24)8826